

## 北九州市立大学入学式 理事長挨拶

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本学の理事長として本日こうして新入生の皆さんをお迎えできることを、心より嬉しく思います。

本来でしたら、皆さんのご家族や関係者の方々にも、この晴れの席にご参列いただくべきところですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からご遠慮いただきました。どうかご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本学は創立から70年を超える長い歴史の中で、全国の公立大学の中でも3番目の規模を有する総合大学へと成長してきました。

そして公立大学として、地域に根差し、地域に貢献する役割を担っており、これまでも地方創生に積極的に取り組む地域貢献度が高い大学として評価を得てきました。

さて、今日、グローバル化が更に進展し、世界の各地でその地域の言語だけでなく、文化や歴史、商習慣なども理解し、活躍できる人材が求められています。

本学では、この時代の要請に応えるため、全ての学生を対象に、グローバル人材を育成するプログラムを展開しており、世界的視野で考え、国際社会で実践的に活躍できる人材育成に取り組んでいきます。

これからの大学生活を通じて、語学力だけでなく、実際に海外の文化に触れるためにも、ぜひ留学や海外インターンシップなどに積極的に挑戦していただきたいと思えます。

また、世界はこれまでに経験したことのないような変化のなかにあります。「ウイズコロナ」に対応した新しい社会への移行に加え、少子高齢化社会の到来、AI・情報技術の著しい進展、脱炭素など環境問題への取り組み、国際社会の在り様・秩序の変化などにより、私たちの社会や暮らしは大きく変わりつつあります。

皆さんには、社会の課題を克服する一翼を担っていただき、より良い新たなものに作り上げていってほしいと期待しています。

ご承知のとおり、本学は、北九州市民の方々を支えられて運営しています。今年も多くの方が市外から入学されていますが、まずは北九州市の歴史や文化に触れていただき、愛着を感じていただくとともに、地域の方々と連携して課題解決に取り組むなど、まちづくりにも積極的に参画していただくことを望んでいます。

大学生生活は、これからの人生の目標を実現していくために必要な能力を磨くことができる大切な時期です。学問と様々な体験を通じて知識と経験を身につけるとともに、友人や幅広い分野の方々との交流を通じて人脈や視野を広げるなど、この期間を最大限に活用していただくようお願いいたします。

北九州市立大学では、皆さんのこれからの大学生生活が充実したものとなるよう、全力でバックアップしていきますので、皆さんの積極的な挑戦を期待しています。

二〇二三年四月五日 北九州市立大学 理事長 津田 純嗣